

令和3事業年度

決 算 報 告 書

第18期

自：令和 3年4月 1日

至：令和 4年3月31日

国立大学法人豊橋技術科学大学

令和3年度 決算報告書

国立大学法人豊橋技術科学大学

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	3,696	3,718	22	(注 1)
施設整備費補助金	577	589	12	(注 2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	359	419	60	(注 3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	47	47	-	
自己収入	1,493	1,505	11	
授業料, 入学料及び検定料収入	1,205	1,206	1	(注 4)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	288	298	10	(注 5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,294	1,432	139	(注 6)
引当金取崩	-	-	-	
長期借入金収入	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
承継剰余金	-	-	-	
目的積立金取崩	97	244	147	(注 7)
計	7,563	7,953	390	
支出	-	-	-	
業務費	5,275	5,309	33	
教育研究経費	5,275	5,309	33	(注 8)
施設整備費	624	636	12	(注 9)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	359	365	6	(注 10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,294	1,234	△59	(注 11)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	11	11	0	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	7,563	7,555	△8	
収入-支出	-	398	398	

○予算と決算の差異について

- (注 1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった国立大学法人の行う授業料免除事業に伴う運営費交付金の交付額5百万円及び退職手当、年俸制導入促進費の追加交付額16百万円により、予算額に比して決算額が多額となっています。
- (注 2) 施設整備費補助金については、予算作成段階では予定していなかった施設整備費補助金の交付等により、予算額に比して決算額が12百万円多額となっています。
- (注 3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金の交付等により、予算額に比して決算額が60百万円多額となっています。また、授業料等減免費交付金が55百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注 4) 授業料、入学料及び検定料収入については、検定料収入の増等により、予算額に比して決算額が1百万円多額となっています。
- (注 5) 雑収入については、予算作成段階では予定していなかった新型コロナウイルス感染症対策助成金の交付等により、予算額に比して決算額が10百万円多額となっています。
- (注 6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、共同研究・受託研究及び寄附金の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が139百万円多額となっています。なお、前年度以前からの繰越額は209百万円です。
- (注 7) 目的積立金取崩については、執行計画の変更により、予算額に比して決算額が147百万円多額となっています。
- (注 8) (注 7) に示した理由等により、予算額に比して決算額が34百万円多額となっています。
- (注 9) (注 2) に示した理由等により、予算額に比して決算額が12百万円多額となっています。
- (注 10) (注 3) に示した理由等により、予算額に比して決算額が6百万円多額となっています。
- (注 11) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、翌年度への繰越のため、予算額に比して決算額が59百万円少額となっています。

○損益計算書との集計区分の相違について

- (1) 業務費の教育研究経費には、損益計算書の教育経費、研究経費、教育研究支援経費及び一般管理費が含まれ、「施設整備費」、「補助金等」及び「産学連携等研究経費及び寄附金事業費等」を財源とする費用は含まれていません。
- (2) 損益計算書の役員人件費は、業務費の教育研究経費に含まれ、教員人件費及び職員人件費は、「業務費の教育研究経費」、「補助金等」及び「産学連携等研究経費及び寄附金事業費等」にそれぞれ含まれています。